

令和6年度 指定管理者制度導入施設モニタリングシート

●施設概要

施設名	三和健康ふれあいスポーツセンター、三和野球場及び三和農村環境改善センター	施設所管課	スポーツ振興課		
指定管理者名	古河・三和健康づくり運営企業体	指定期間 (評価実施年)	令和2年4月1日	~	令和7年3月31日
施設設置目的	スポーツの普及振興を図り、市民の健康と福祉の増進に寄与する。				
主な実施事業	三和健康ふれあいスポーツセンター、三和農村環境改善センター及び三和野球場の施設管理及び貸出業務、各種スポーツ教室の開催				

●実績報告

開館・開園日数	利用人数 (人)	利用団体数 (団体)	減免数 (件)	指定管理料 (円)	指定管理者の収支状況			備考
					収入【A】(円)	支出【B】(円)	差引【A-B】(円)	
341	137,098	2,469	1,684	108,197,994	129,716,920	137,511,866	△7,794,946	

●管理運営状況

項目	評価基準(評価の観点)	評価内容			
		自己	指定管理者コメント	所管課	所管課コメント
1. 団体の能力	団体の安定性	安定した運営ができる財務状況である	A	A	市の条例、規則に則り、指定管理者としての責務を認識し、真摯に事業に取り組んでいる。
	団体の信頼性	類似施設の管理実績が良好である			
	基本方針	市の計画や条例における施設の設置目的や役割を理解している 指定管理者としての責務を認識し、真摯に事業に取り組む姿勢がある			
2. 管理運営の基本事項	公平性の確保	誰もが平等・公平に利用できる仕組みづくりがされている ・利用時間・開館日は協定書を遵守している ・利用時間・開館日・事業内容等の周知は的確である ・予約方法・受付方法は的確である	A	A	協定書を遵守し、市民が平等、公平に利用できるよう、運営規則に準じて、運営ができている。
	苦情・要望の把握と対応	利用者の意見・要望の把握とその反映の方法は的確である トラブル発生時の対応策や未然防止策が検討されている ・苦情・要望の把握方法・対応が明確になっている ・苦情・要望内容、対応についてきちんと記録されている ・より多くの意見を集められるよう工夫が図られている ・利用者が気持ちよく利用できるよう工夫が図られている			
	情報管理	個人情報保護や業務上知り得た秘密の漏洩防止策が講じられている 情報公開への対応は的確である ・業務上知り得た秘密や個人情報の適切な管理方法について定めた個人情報保護マニュアルが策定、更新されている ・情報管理について職員に意識付けされており、マニュアル通り運用されている ・情報公開規程が策定されている			
利用者の安全確保	利用者の安全確保	日常から利用者が安全に利用できるよう、事故防止、防犯、防災などきめ細かい安全対策が講じられている ・日常的に必要な安全点検を行っている ・緊急時の行動規範(マニュアル)が策定・更新されている ・緊急時の行動規範(マニュアル)が職員に周知徹底されており、マニュアル通り運用されている ・最低年1回の避難訓練を実施している	A	A	日常的に、館内の安全管理を徹底する等、各種対策に取り組み、利用者が安心安全に利用できるよう努めている。 また、緊急時の危機管理体制及び緊急・救急ネットワーク体制が確立しており、災害時等への備えが万全である。 避難訓練も一般開放中に実施するなど、実効性のある訓練を行っている。
	危機管理体制	事故、災害など緊急時において適切な対応ができるような体制がとられている			

		<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルが策定、更新されている ・危機管理マニュアルが職員に周知徹底されており、マニュアル通り運用されている ・非常口の表示がされており、避難経路が確保されている 		<p>したうえで業務を遂行している。危機管理マニュアルに関しては、従業員研修の段階で研修項目に設定し、共通認識として把握できるよう取り組んでいる。</p>		されている。
3. 管理運営体制	人員体制	<ul style="list-style-type: none"> 管理運営内容と整合した職員体制がとられている 必要な資格、専門的な知識を持った職員が配置されている 人件費の設定は適切である 	A	<p>3施設の中核となるスポーツセンターの事務所には業務を統括可能な責任者を常時配置し、対応やサービスに滞りがないように努めている。温水プールには、定数の監視員を配置し、利用者の万が一に備えている。停電期間中は、施設再開後のスキルアップに繋がるよう、研修や業務転換を行なながら雇用を確保した。</p>	A	<p>業務遂行のための適切な人員配置が行われている。温水プールの休館中における職員の対応については、新たな事業を開拓させるなどして、雇用の確保に努めている。</p> <p>また、勤務時間・賃金・雇用等において労働基準法等関連法令を遵守しており、人員体制は良好である。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・業務遂行のための適切な職員体制がとられている ・業務遂行に必要な資格を持つ職員を確保しており、適正に配置している ・勤務時間・賃金・雇用等において労働基準法等関連法令を遵守している 				
	人材育成	職員の育成、資質向上のためのきめ細やかな取組が実施されている	A	<p>新しく雇用した従業員へは研修シートをもとに研修を実施し、実施内容に偏りが無いように研修を行っている。また、研修後も定期的に研修項目の理解を確認し、確実な業務遂行を図っている。</p> <p>また、全ての従業員を対象に日本赤十字社の指導員による安全講習を実施し、利用者が安心して施設を利用できるように取り組んだ。</p> <p>質の高い接客(サービス)と安心安全を提供できる環境を整えるよう努めている。</p>	A	<p>人材育成については、どの職員にも、同じレベルとなるよう、指針に基づき研修を行っている。</p> <p>また、利用者が、安心安全に利用できるよう、利用者に寄り添った質の高い接客に努めている。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・職員の育成、資質向上のための研修を実施している ・職員の技術向上のための研修を実施している ・利用者に対して気持ちの良い対応をしている 				
	施設の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> 施設の機能維持、物品管理の方策は適切である 	A	<p>プールのオープンに伴い更衣室、シャワーラーム、トイレの床や壁の修繕、プール入口壁の塗り直し等、施設の美化に努めた。公共施設だから古臭い等の妥協はせずに従業員同士でも指摘し合いながら日常点検や清掃を強化した。故障や破損等を発見した際は、軽微なものは自主修繕を行い、対応が難しいものについては、早急に修理業者へ確認及び修理依頼をするなど、修繕費の削減に配慮している。</p> <p>また定期巡回も徹底して、細かな異常に気付けるよう実施している。利用ごとの準備や片付けに従業員が立ち合いでいる、安全な備品の使用等を行なっているかを確認し使用による破損等がないよう注意している。</p>	A	<p>利用者が施設を安心・安全に利用できるよう、日常的に備品等の清掃や機能確認、及び施設内の安全確認などを実施している。</p> <p>また、施設の機能維持に必要な法定点検を含む定期的な点検を適切に行っている。</p>
	業務委託	<ul style="list-style-type: none"> 再委託の業務範囲、委託方法及び委託先は適切である 再委託業務の成果確認の方法は適切である 		<p>再委託については、法定検査や改修、専門性のあるメンテナンスなど以外は可能な限り、自社による整備や保全に努めた。</p> <p>また、再委託をする場合も地元業者への依頼を基本とし、原則として見積額や工程等を総合的に判断した上で数社より選定している。再委託をする際は利用者への安全や利用状況へ配慮した上で、可能な限り阻害なく利用ができるよう計画し、実施時は立ち合いも行なながら確認を行っている。</p>		<p>再委託の委託方法及び委託先等は適切である。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・委託先を決める際に数社から見積もりをとるなど、委託方法及び委託先は適切であり、事前に市の承認を受けている ・再委託業務の成果確認を実施している 				
4. 施設の効果的活用	広報・PR	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の増加を図るための広報計画や数値目標が適切である 魅力的なサービスや利便性向上につながる提案がなされている 	A	<p>常に新しい情報を提供できるように努め、情報の更新や発信をしている。情報を提供する対象により効果的な発信方法を精査し、素早く幅広い対象へ発信する際はSNS(インスタグラム)を有効活用している。インスタグラムのフォロワーは今年度1,000名を超えることができた。</p>	A	<p>SNS等さまざまな媒体を活用し広報活動を行っている。地域性も鑑み、子どもから高齢者まで施設からの情報が得られるよう、施設内へのポスターの掲示やチラシの設置等、幅広い年齢層に対応できるような広報活動を行っている。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・各種媒体を利用した利用促進の取り組みを実施している ・利用促進の取り組みの成果を把握している 				
	施設の活用	施設の利用拡大のための事業、または自主事業の取組が検討されている。	A	<p>また、インターネットなどにゆかりのない高齢の方等へは分かりやすい館内ポスターやチラシの配布などで周知している。合わせてSNSに限らず、施設より発信する情報においては、発信に至るまでの確認を幾重にも行き、コンプライアンスへの配慮を徹底して行っている。地域性を活かした施設づくりを目標に、親子又は三世代で利用できるような教室展開、時間帯の考慮も含め取り組んだ。SNSや館内ポスター等を積極的に活用し、社会情勢等を考慮し随時、見直しと改善を図りながら利用促進に努めている。</p>	A	<p>地域の実情や利用者のニーズに合わせた自主事業を展開するなど、利用促進に努めている。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・魅力的な企画やイベントの実施により、利用者数や稼働率に効果がみられる 				
5. 効率性	経費削減・収支バランス	<ul style="list-style-type: none"> 経費削減のための方策は、無理がなく実現可能なものである 設定額(サービスとコストのバランス)は妥当である 	A	<p>消耗品の購入は、事前に数店舗を比較している。修繕に関しては利用者に直接関わる箇所を最優先し対応した。利用者サービスの低下を軽減するために停電期間中の教室実施会場をスポーツセンターから改善センターへと活動場所を変更し、利用者へのサービスを第一に考えた。業務の改善と経費の削減を念頭に運営していたが、収支バランスは当初予算とは乖離した結果となつた。</p>	A	<p>温水プールの大規模改修工事により、適切な収支バランスを取ることが難しい中、利用者へのサービスを低下させることがないよう、様々な工夫で、経費削減に努めていた。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・利用料金収入は当初見込みと乖離していない ・修繕費は適切に執行されている(過剰な剩余金はない) ・収支計画書の範囲内で適正に予算を執行している ・指定管理に係る会計は、団体自体の会計と区別した管理をしている ・経費削減は施設機能の低下等なく実施されている 				

【評価基準】

SS	優良:仕様書等の業務要求水準を上回る効果的・画期的な取組により、優れた成果があったもの 【コメントに取組内容・効果の具体例を記入】
S	良:仕様書等の業務要求水準を上回る取組がされているもの 【コメントに取組内容の具体例を記入】
A	普通:仕様書等の業務要求水準どおりに行われているもの
B	不十分:仕様書等の業務要求水準に達しておらず、さらなる努力・改善が必要なもの
C	不備:仕様書等に基づく実施すべき事項が履行されておらず、指導や事業内容の見直しが必要なもの

●総括評価

指定管理者	<p>令和5年度と6年度を比較すると、開館日は341日(-4日、98%)。利用人数に関して、5年度121,067名⇒6年度137,098名(+16,031名、13%増)、団体数5年度2,308団体⇒6年度2,469団体(+161団体(+7.0%))という結果となった。</p> <p>2か月以上の停電期間によりスポーツセンターの開館日数が減少している中で、利用人数が増加した背景に予約システム導入による利便性の向上とインスタグラムの活用が若い世代の利用と活動頻度の増加に繋がったことが推測される。</p>																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>開館日数(日)</th><th>利用人数(人)</th><th>団体数(団体)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年度</td><td>345</td><td>121,067</td><td>2,308</td></tr> <tr> <td>令和6年度</td><td>341</td><td>137,098</td><td>2,469</td></tr> <tr> <td>比較</td><td>-4</td><td>+16,031 +13%</td><td>+161 +7.0%</td></tr> </tbody> </table>		開館日数(日)	利用人数(人)	団体数(団体)	令和5年度	345	121,067	2,308	令和6年度	341	137,098	2,469	比較	-4	+16,031 +13%	+161 +7.0%																															
	開館日数(日)	利用人数(人)	団体数(団体)																																													
令和5年度	345	121,067	2,308																																													
令和6年度	341	137,098	2,469																																													
比較	-4	+16,031 +13%	+161 +7.0%																																													
1年間の自らの管理運営状況、施設の実績等を評価し、翌年度の課題等があれば記入してください。	<p>自主事業の見直しや、新規教室の開催、インスタグラムを活用し情報発信を行うことで、選びやすく入りやすい環境の構築に努めた。また、1人の参加者が2つの教室への参加、1人の参加者がもう1人を連れてくるなど、活動の輪が広がるよう教室の種類や強度、開催時間などに留意した。</p> <p>また、教室回数券の販売状況は3,000円券138枚(前年:+71枚+106%)、4,000円券22枚(前年-9枚-29%)、5,000円券600枚(前年+257枚+75%)と1番枚数の多い5,000円券が増えているということは、教室参加を継続している方が増加傾向にある事が推測される。800円の現金参加は平均して月に6.6名程の利用があり、昨年度と比べ増加しているが明らかに回数券での利用頻度が高くなりピートやシェアでの利用により、より安価に提供することができた。</p>																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>R5年度</th><th>販売枚数(枚)</th><th>昨年比較(枚)</th><th>昨年比較(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1回(800円)</td><td>45回</td><td>+30回</td><td>+66</td></tr> <tr> <td>3,000円券</td><td>67</td><td>-13</td><td>-19</td></tr> <tr> <td>4,000円券</td><td>31</td><td>+8</td><td>+26</td></tr> <tr> <td>5,000円券</td><td>343</td><td>+30</td><td>+9</td></tr> <tr> <td>計</td><td>441</td><td>+25</td><td>+16</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R6年度</th><th>販売枚数(枚)</th><th>昨年比較(枚)</th><th>昨年比較(%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1回(800円)</td><td>80回</td><td>+35回</td><td>+78</td></tr> <tr> <td>3,000円券</td><td>138</td><td>+71</td><td>+106</td></tr> <tr> <td>4,000円券</td><td>22</td><td>-9</td><td>-29</td></tr> <tr> <td>5,000円券</td><td>600</td><td>+257</td><td>+75</td></tr> <tr> <td>計</td><td>760</td><td>+319</td><td>+72</td></tr> </tbody> </table>	R5年度	販売枚数(枚)	昨年比較(枚)	昨年比較(%)	1回(800円)	45回	+30回	+66	3,000円券	67	-13	-19	4,000円券	31	+8	+26	5,000円券	343	+30	+9	計	441	+25	+16	R6年度	販売枚数(枚)	昨年比較(枚)	昨年比較(%)	1回(800円)	80回	+35回	+78	3,000円券	138	+71	+106	4,000円券	22	-9	-29	5,000円券	600	+257	+75	計	760	+319
R5年度	販売枚数(枚)	昨年比較(枚)	昨年比較(%)																																													
1回(800円)	45回	+30回	+66																																													
3,000円券	67	-13	-19																																													
4,000円券	31	+8	+26																																													
5,000円券	343	+30	+9																																													
計	441	+25	+16																																													
R6年度	販売枚数(枚)	昨年比較(枚)	昨年比較(%)																																													
1回(800円)	80回	+35回	+78																																													
3,000円券	138	+71	+106																																													
4,000円券	22	-9	-29																																													
5,000円券	600	+257	+75																																													
計	760	+319	+72																																													
	<p>温水プールの改修工事が終了し、利用者数が増加した一方、停電期間中のスイミングクラブ会員の退会者数が多く自主財源の伸び悩みに繋がった。各種教室は好調で回数券の販売数も大幅に増加し、利用者層の変化、利用頻度の増加により今後も施設の活性化が期待できる傾向にあった。</p> <p>今期指定管理期間は情勢の変化や改修工事、不可抗力による休館等、古河市の魅力あふれる地域に根付く施設づくりは思い描いた通りにはいかない困難な期間だった。しかし、幾度となく休館しても利用者が戻ってきている様子から長年の施設管理の実績と信頼があったからこそその運営であり強みを活かすことができたと考えている。</p> <p>施設運営には、利用者へのサービスを第一に考え幅広い年齢のニーズを捉えつつ様々なアイデアを出しながら、新規自主事業等を構築するなど、状況を踏まえた柔軟な対応をしてきた。</p> <p>施設のPRについては、SNS、チラシ、施設内掲示等、さまざまな媒体を活用し、地域性を踏まえた効果的、効率的な手法で、積極的な広報活動に努め、利用実績を伸ばすことができた。</p> <p>厳しい環境下でも利用者が安心・安全に施設を利用することができ、また利用したいと思ってもらえるような質の高いサービスの提供を常に心がけてきた。利用者アンケートのご意見や管理者変更に伴う問い合わせ等から、運営側の意図や努力を理解していただけている地域住民・利用者がたくさんいることを知ることができた。取り組みの方向性や信念は地域住民にご理解いただけているため、このまま質の高い運営をすれば、今後施設利用者数の減少はないと思われる。特に自主事業におけるサービスの提供は継続して行うことで幅広い年齢層に愛される施設を構築することができると考えている。実際に、教室の参加から個人利用または個人利用から教室参加等、施設を存分に利用してくださる方が増えた現状がある。</p> <p>指定管理者は、利用者が安心・安全に施設を利用できるよう危機管理に努めるとともに、施設の美化、経費削減等の取り組みに効果的な経営努力を行い、利用者目線のニーズを握り、サービスに転嫁できる体制づくりが重要な責務だと認識している。</p>																																															
所管課	<p>事業報告書の内容、利用者アンケート及び実地調査の結果等を多角的に評価し、指定管理者制度導入の効果を検証してください。</p> <p>三和健康ふれあいスポーツセンターの低圧ケーブルの盗難に伴い約2か月間の休館となつたが、利用者へのサービスを低下させることがないよう、利用者のニーズを捉えつつ、活動場所を変えるなど、様々なアイデアを出しながら、新規自主事業等を構築し、柔軟な対応をしていた。常に利用者へのサービスを第一に施設の管理運営に努めており、利用者からの信頼を得られていたと考えられる。</p> <p>施設のPRについては、SNS、チラシ、施設内掲示等、さまざまな媒体を活用し、常に新しい情報を提供できるように努め、情報の更新や発信を行っていた。地域性を踏まえた効果的、効率的な手法で積極的な広報活動に努めており、利用実績も増加した。</p> <p>利用者に対しては、安心・安全に施設を利用できるよう、また利用したいと思ってもらえるような質の高いサービスの提供を実践しており、新規利用者及びリピーターの獲得にも繋げられるよう努めている。</p> <p>利用者アンケートについては、利用者の目的やニーズ、要望等を把握することができ、その結果を踏まえ、利用者の増加等に繋げられるよう活用することができた。</p> <p>指定管理期間中は、多様な住民ニーズに対して、より効果的、効率的に対応するため、指定管理者のノウハウを活かし利用者が安心安全に施設を利用できるよう、危機管理に努めるとともに、経費削減等を図ることができた。</p>																																															